



協議会会長より

会長メッセージ

会長 栗原靖之（横浜国大）

いつも協議会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

遅くなりましたが、昨年 10 月に開催された「協議会総会・技術職員会議・シンポジウム」の報告書が、このたび完成いたしました。改めて各発表者の講演内容を振り返ってみると、多くの学びと気づきがあり、各大学の個性や強みを活かした素晴らしい取り組みに、深い感銘を受けました。技術職員の皆様の創意工夫と熱意が随所に表れておりますので、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと思えます。

さて、文部科学省人材政策課では、研究開発やイノベーションの創出を支えるマネジメント業務・人材に関するガイドラインの整備が進められています。すでに（この NL が発行される頃には公表されているかもしれませんが）、主に URA を対象としたガイドラインの素案が完成しています。そして本年夏頃には、技術職員を対象としたガイドラインも発出される予定で、現在担当 WG において検討が進められています。

また、協議会の幹事会では、技術職員とセンター教員を対象とした「勤務評価雛形」の作成に力を入れて取り組んでいます。機器の管理運用や、教育・研究の現場を支える皆様の努力が、機関内で正当に評価されるべきだという強い思いがあります。さらには、日々

の業務における創意工夫や挑戦が、教育研究力の向上にどれほど貢献しているか——そうしたことがきちんと評価に反映される仕組みが必要です。

そして、共用ガイドラインや今回のガイドラインで扱われていない「センター教員」の存在も、もっと注目されるべきです。そのためにも、この勤務評価雛形を通じて、その重要性和貢献を可視化し、評価制度の中で正しく位置づけていきたいと考えています。こうした取り組みは、単に制度整備のためだけでなく、何よりも現場で働く皆さんの「やりがい」や「モチベーション」につながると私たちは信じています。

そこで今回、勤務評価項目として盛り込んでほしい業務内容について、**皆様からの声を直接伺うアンケートを実施**いたします。教育研究を根底から支える皆様の取り組みが、正当に評価される未来を実現するために、ぜひご協力をお願いいたします。

前回実施した共用ガイドラインに関する現状調査の結果は、協議会の存在意義を国立大学協会における学長理事への発信や、協議会の存在感を文部科学省の中で高めることにもつながりました。今回の勤務評価雛形も、皆様の声を力に、協議会の使命として国の施策に反映させられるよう全力で取り組んでまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

令和6年 国立大学法人機器・分析センター協議会総会・技術職員会議・シンポジウム報告書

標記報告書を協議会 HP に掲載しました。

令和6年 国立大学法人機器・分析センター協議会総会・技術職員会議・シンポジウム報告書

https://jcrea.jp/content/files/R06_AnnualReport.pdf

ご活用ください。

(2025年3月21日メール済)

2026年 技術職員ガイドライン策定に向けたアンケートについて(報告)

『研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン』(科学技術・学術政策局 研究環境課/令和4年3月)が策定され、各機関において取組みが進んでいると思います。一方、『科学技術イノベーションの創出に向けた研究開発マネジメント業務・人材に係る課題の整理と今後の在り方』(科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室/令和6年6月)においては、特に技術職員の働きについて「実態が追いついていない状況がある」と言及されています。人材政策推進室では技術職員のガイドライン策定が進んでおりますが、現状の課題として、①状況把握の不十分さ、②適切な評価と処遇、③キャリアパス確立、④人材育成の困難さ、⑤他機関と情報共有する仕組み構築の必要性が挙げられています。

当協議会では、技術職員や教員等の共用研究設備に携わる人材の評価に焦点をあて、現場の状況をガイドラインに反映させるために皆様へのアンケートを行う準備をしています。何卒ご協力をお願い致します。

2025年度総会・技術職員会議・シンポジウムについて(第2報)

実行委員会立ち上げ準備状況：予定メンバー

西田教行(長崎大学、研究・戦略企画担当理事)

早川 慶(長崎大学、研究国際部長)

津田信明(長崎大学・技術専門職員)

地福寿史(長崎大学・技術専門職員)

野口恵一(東京農工大・協議会副会長)

三隅省吾(熊本大学・協議会副会長)

真木俊英(長崎大学・広報委員会・開催校)

小林 利章(電通大・技術人材委員会)

稲角直也(大阪大学・事業検討委員会)

令和7年度の総会・技術職員会議・シンポジウムの開催日時・場所は以下を予定しています。

記

日時： 令和7年10月10日(金)

場所： 長崎市 出島メッセ

<https://dejima-messe.jp/>

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1



10月7, 8, 9日は”長崎くんち”です。宿泊の手配はお早目に。

【ご意見募集!】

長崎大会を有意義な会にするために、皆様からの忌憚のないご意見をお願いします。

参考：過去のテーマ

[2023年]

チーム共用における機器・分析センターの役割～機器・分析センターの機能強化のためになすべきことは？

[2024年]

2025年度までに我々がなすべきこと～このままだと大学の教育研究が危ない

[2025年]

以下は検討中の事項：

・今年度のテーマ？ 開催方式は新潟形式？

これまでに挙がっているキーワード：

・人事、中規模、研究基盤エコシステム

雇い止め問題、支援人材評価

・第7期科学技術基本計画、J-PEAKS での共用促進、共同利用共同研究拠点再編、文科省の10年後のビジョン

～ご意見は、Discord または幹事会へ～

- ・ 共用機器の管理運営
- ・ 企業との連携について
- ・ セミナー情報等
- ・ リユース情報
- ・ 公募情報
- ・ 協議会小集会



Discord 招待二次元
バーコード

-----Discord への登録方法-----

下記のリンクは国立大学法人機器・分析センター協議会の Discord の招待リンクとなっております。

<https://discord.com/invite/2w9CU4Asw7> (本招待リンクは招待期限なしとなっております。)

X (Twitter) もあります。

X (Twitter)で最新情報を配信しています。

<https://twitter.com/kikikyogikai>



協議会 X 二次元
バーコード

Discord のチャンネル増加中

Discord のチャンネルが増加中です。気になるチャンネルをチェック！

・ **長崎 (総会・シンポジウム・技術職員会議) New**

・ 分析相談なんでも

・ NMR 相談チャンネル

・ フローサイトメーター

・ DNA シーケンシング

・ 元素分析

・ 質量分析 ms

・ 【終了】(新潟) 総会・シンポジウム-フリースペース

・ 幹事会への意見・質問・ゆるい雑談

・ 会長のつぶやき

・ 医学・生物系広場

お願い

ご意見募集

このニュースレターや協議会活動についてお気づきの点がありましたら、Discord または下記のメールアドレスにてご連絡ください。

連絡先：kiki_kanjikai@googlegroups.com

国立大学法人 機器・分析センター協議会
ニュースレター No.13

発行日：2025年3月31日

編集：国立大学法人 機器・分析センター協議会
広報委員会

発行：国立大学法人 機器・分析センター協議会

連絡先：kikikyogikai@gmail.com

Website: <https://jcrea.jp/>

メーリングリスト：kiki_ml@googlegroups.com